



ねやがわし 社会福祉協議会だより

No.151
令和2年5月1日発行

子どもからおとしよりまで
笑顔あふれる地域へ



主な記事

- 社会福祉協議会 令和2年度事業計画と予算2
- 特集 「ひきこもり」状態の方々への支援について3
- 福祉委員会活動紹介～成美小学校区～4
- 緊急時安否確認(かぎ預かり)事業の情報交換会5
- 介助犬「お散歩たすけ隊」の紹介5
- 施設での1日ボランティア体験6
- 社協からのお知らせ7
- 地域のヒト! 荻野 茂基(おぎの しげき)さん8
(梅が丘校区福祉委員会 委員長)

梅が丘校区福祉委員会

子育てサロン「梅・母子ひろば」は毎月第3火曜日(8月を除く)10時～11時30分に公社打上団地15集会所で実施しています。

高齢者昼食会は年に1回、梅が丘小学校の体育館で250人以上が集まる校区一大イベントです。子どもからおとしよりまで、世代間の交流を大切にしています。

ねやがわし社会福祉協議会だより
虹 151号 令和2年5月1日発行

発行所/社会福祉法人 豊岡川市社会福祉協議会
編集者/社会福祉法人 豊岡川市社会福祉協議会
広報編集委員会

〒572-8566 豊岡川市池田西町24-5市立池の里市民交流センター内
電話 072-838-0400 ◆FAX 072-838-0166
URL: <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

Interview

梅が丘校区福祉委員会



おぎの しげき
荻野 茂基さん

何事にも前向きに率先して

梅が丘校区は7つの自治会があり各自治会から委員が集まり福祉委員会が構成されています。

私は、10年ほど前に少年補導員や自治会の副会長を始めたことをきっかけに地域の活動に関わり始めました。

福祉委員長として6年になります。何事にも前向きに、率先して行動するようにしています。

活気のあるまちづくりを目指して

梅が丘校区福祉委員会では、高齢者昼食会、グランドゴルフ大会、ボランティア部会によるひだまり喫茶、ふれあいサロン、保育園児との交流会やミニハイキングなどを実施しており、高齢者から子どもまで地域の方々に参加いただいています。

なかでも高齢者昼食会は、ひとり暮らし高齢者や70歳以上の方々を対象とした一大イベントで、参加者やスタッフを含めて250人以上が集まります。

今後とも、高齢者や世代間の交流を大切にしながら地域活動を充実させていきたいと思っています。

今後の抱負

青少年の育成に力をいれ、高齢者からも皆からも頼られる。そういった人物になりたいと思います。

今年早々、中国で発症した新型コロナウイルスは、ダイヤモンドプリンセス号の豪華客船で最初の感染者が出ました。北海道や東京・千葉・大阪ではライブハウスから感染者が続出し、今では全国に広がっています。2月下旬に安倍首相より小中高等学校を休校にするよう通達があり、豊岡川市内では3月に卒業式がありました。生徒と先生、保護者のみでの挙行となりました。そして、春の楽しみである桜まつりをはじめ、大勢の人が集まる催しは延期や中止になりました。さらに、高校生の春の選抜野球大会も中止が決まり、スポーツ界にも影響が及んでいます。

全世界でも感染者が多く出ていますが、この状況がいち早く収束してほしいと日々感じています。来年度に予定されている東京オリンピックの開催を心から楽しみにしています。(O.T生)

編集後記
れんこん畑

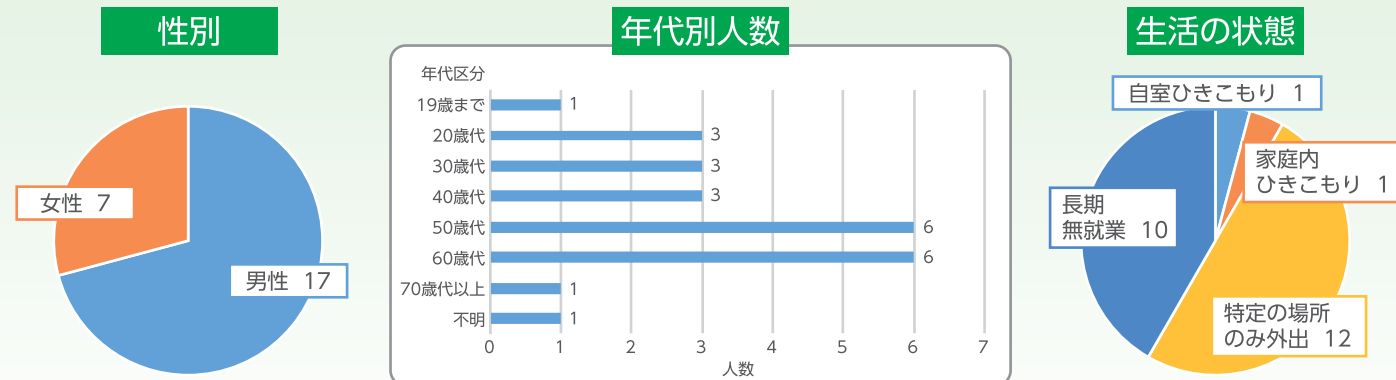
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本会主催の行事や地域福祉活動などは中止または内容が変更となる場合があります。事前に本会までご確認ください。

特集 生活困窮者自立支援事業から見える「ひきこもり」状態の方々への支援について

平成27年から取り組んでいる「生活困窮者自立支援事業」では、令和元年度に418件の新規の相談が寄せられました。相談内容は生活費、医療費などの経済的に困っている相談や、仕事探しなどの就労に関する相談のほか、「ひきこもり」に関する相談もあります。

令和元年度は、24件の「ひきこもり」に関する新規相談を受付けました。

(単位:件)



「ひきこもり」は誰もが成り得る

本会ではひきこもり状態を「仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流がほとんどない」「特定の場所にしか出かけることができない」「長期間(6か月以上)仕事に就いてない」状態を「ひきこもり状態」と位置付けています。その「状態」になったきっかけは、不登校や離職、親の介護や死亡など多岐にわたっています。

人生の中での変化がきっかけで「ひきこもり状態」になることがあります。それは、挫折感や喪失体験からくるかもしれません。

多機関から相談が入ってきます

ひきこもりに関する相談は、近年の社会問題となっています。「80・50問題(※)」に関連して高齢者の総合相談窓口の地域包括支援センターや、15歳から39歳までの方の就職に向けた取組みをしている地域若者サポートステーション、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)、保健所、親などから相談が入ってきます。相談に来られた方々と、ご本人とお会いできる方法についてお話をしたり、ご本人も一緒に相談に来ることもあります。

(※)「80」代の親が同居の「50」代の子どもの生活を支えるという社会問題

「支援」について

相談員がご本人とお会いして、不安や悩みなどのご本人の気持ちや、今までの生活で感じたことなどをお聞きします。その方の状況にあわせて支援を行います。その支援の一つとして本会では「就労準備支援」を行っています。

就労準備支援は、相談員との面談のほか、少人数によるグループ活動や、野外で作物を育てる菜園プロジェクトなどを行っています。また、市内の製造業や地域貢献委員会加盟の社会福祉法人の施設で、職場見

学・体験・実習を行っています。

無理のない形で参加者と相談員とが一緒になり、ご本人の希望や目標に向けてステップアップを目指していきます。

本会ではひきこもりに関する相談だけでなく、さまざまな生活上の相談もお聴きしています。まずはお気軽にご相談ください。

☎ 生活支援課 ☎ 072-812-2040

令和2年度 事業計画・予算 「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指します

5つの重点項目

1 地域の支え合い体制づくり

高齢者の社会参加と介護予防推進を福祉関係に限らない多様な主体とネットワークを構築しながら、地域における支え合い体制づくりを通じて地域共生社会を推進します。

2 つながりづくり

社会的な孤立や経済的に困窮する世帯への支援を通じて、「ひきこもり」状態に陥らないよう、地域社会とのつながりが継続できるよう取り組みを行います。

3 新たな担い手づくり

子どもや青少年を巻き込んだ地域福祉活動や災害に備えた地域づくりなどを通じて、新たな「担い手」「人材(人財)」を育成していきます。

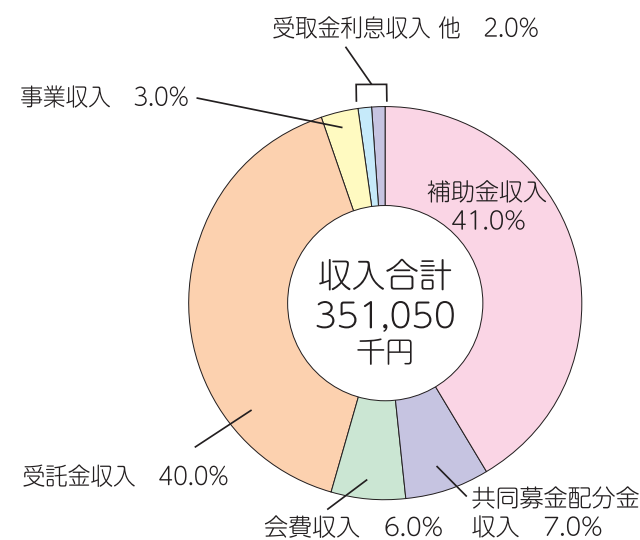
4 第3次地域福祉活動計画の策定

「第2次地域福祉活動計画『未来福祉ねがわプラン』」は今年度で最終年度となり、取り組みごとの成果や課題を整理し、次期計画である「第3次地域福祉活動計画」の策定を行います。

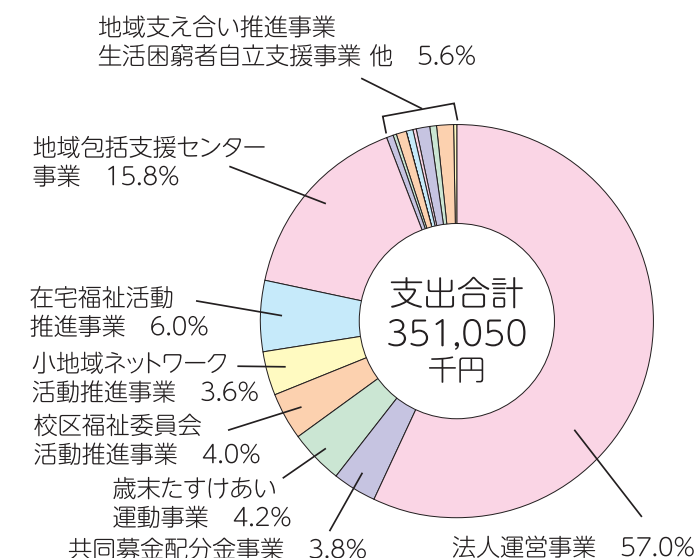
5 自主財源の確保

会員募集、共同募金、歳末たすけあい運動募金などの自主財源が減少する中、財源確保について、新たな財源づくりも含めさまざまな角度から検討していきます。

令和2年度予算 <収入>



令和2年度予算 <支出>



事業計画・予算の詳細はホームページをご参照ください!

☎ 総務課・地域福祉課 ☎ 072-838-0400

介助犬お散歩たすけ隊! in 桜小学校区

介助犬って?

盲導犬、聴導犬、介助犬を総称して「補助犬」とい
い、体が不自由な方の生活を支えています。

全国で61頭しかいない「介助犬」の使用者である
石橋さん。難病を患い、「外出が困難になることが増
えてきた」という石橋さんからのSOSを受け止め、
介助犬ウルパの「お散歩たすけ隊」を結成。メンバー
の皆さん取材しました。

「できること・したいことをできる範囲で」

Q1 活動に参加したきっかけはなんですか?

A. 介助犬についてのお話を聞きに行ったこと
です。以前に犬を飼っていて、今も犬が大好きだから「や
りたい!」と思いました。

Q2 活動して自身に変化はありましたか?

A. ウルパがとっても賢くて穏やかで、一緒にいて癒
されています。あと、ウルパも散歩して痩せたみたい
ですし、私もスリムになりました!(笑)



小学生に介助犬についてお話しをする
石橋さんと、実演をするウルパ

Q3 不安はなかったですか?

A. 介助犬が賢い犬だとわかっていし、特に不安
はなかったですよ!

Q4 今後、メンバーが増えてほしいですか?

A. やりたいことをできる範囲でするのがボラン
ティア活動。週1回ぐらいの活動なので負担感
は少ないですが、「お散歩たすけ隊!」の仲間
が増えればとてもうれしいですね。ぜひ一
緒に活動しませんか?



初期メンバーの皆さん 笑顔がキラリ

担当 社会福祉士より

女性だけでなく、男性の参加や子どもたちの協
力(大人と一緒に参加)も歓迎します。また、本会
にはこの活動以外にもさまざまなボランティア依頼が
寄せられています。

参加希望や詳細については本会までお問い合わせ
ください。

☎ 地域福祉課 ☎ 072-838-0400

緊急時安否確認(かぎ預かり)事業

～福祉委員会×施設×警察の 連携を深めるために 情報交換会を開催～



2月14日(金)、校区福祉委員会とかぎ預かり協
力施設の情報交換会を開催しました。寝屋川警察署
と施設から取組みの報告があり、その後、福祉
委員を交えて意見交換を行いました。

福祉委員からは、「日ごろ、見守っている方の中
にかぎ預かり事業の利用をすすめてほしい方が
いるが、かぎを預けることに抵抗があるようで、
利用には至っていない。事業の仕組みなどの周知
が十分ではないのかも」といった意見が出ていま
した。

今後も市内の校区福祉委員会、かぎ預かり協
力施設、警察署の連携を深め、本事業の周知や
見守り活動の充実を図ります。

☎ 地域福祉課 ☎ 072-838-0400



当日は50人が参加しました

・利用者数 758人
(令和2年3月31日現在)

安否確認の結果、生存が確認された件数
135件(143件中)
(事業開始から令和2年3月31日現在)

こんなこと、やっていますねん!

校区福祉委員会活動紹介 Vol.29 ～成美小学校区～ 子どもたちを地域で見守りたい! 子ども食堂なるみちゃん



きたの さえこ
北野 冴子さん



成美校区福祉委員会は、「子ども食堂なるみちゃん」を平成29年度からスタートしています。「子どもたちの居場所づくりを通して、子どもたちを地域で見守るきっかけにしたい」という思いのもと取り組んでいます。

「子ども食堂なるみちゃん」について、校区福祉委員長の北野 冴子さん・福祉委員の武生 義史さん・横田 康生さんからお話をうかがいました。

—Q1 「子ども食堂」を始めてみてどうですか?

A. 季節によって変わりますが、20人ぐらいの子
どもたちが参加してくれています。始めたときは参加
があるのかなあと思っていたのですが、うれしいこと
です。

—Q2 「子ども食堂」を実施する中で意識・工夫して
いることはありますか?

A. 子どもたちへの参加呼びかけについては、小学
校の協力のもとチラシを配布し、事前に申し込みを
受け付けています。また、ごはんを食べるだけで終
わらないように、さまざまな学年の子どもたちが交
流できるようなレクリエーションも実施しています。

—Q3 活動の中でうれしいことはなんですか?

A. やっぱり子どもたちの笑顔ですね。楽しそうにご
はんを食べている姿を見ると、やっていてよかったな
と思います。地域の中で子どもたちと出会ったとき
に、声をかけてくれる時もあります。こんな風に自然
な形での見守りが生まれたらうれしいですね。

- 日 時 毎月概ね第1土曜日11時～14時30分
- 場 所 市立エスポータル
- 対 象 成美校区内の小学生
- 参加費 子ども100円 保護者200円



見守りに対する思いを
語っていただきました



ゆったりとした雰囲気
で食事を楽しむ子どもたち
(子ども食堂)

地域全体で見守り、見守られ

成美校区福祉委員会では、ひとり暮らし高齢者の調査や各
サロン活動に加え、昨年度は子どもボランティア体験講座も開
催し、子どもからおとしよりま
で、地域全体でお互いに見守り
見守られる体制づくりを目指し
ています。



他の地区でも喫茶やサロン活動を
開催しています



みんなで食べるいちご キレイに洗うぞ!
(子どもボランティア体験講座)

☎ 地域福祉課 ☎ 072-838-0400

社協からのお知らせ

毎日約3,000人が輸血用血液を必要としています。献血は不要不急の外出にはあたりません。400ml献血にご協力下さい。

あなたの生活 サポートします
日常生活自立支援事業の紹介

「福祉サービスを利用したいけど、手続きの仕方が分からない」「銀行に行ってお金を下ろしたいけど、自信がない」「計画的にお金を使いたいけど使えない」といった困りごとはありますか？

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障害や精神障害等により、判断能力に不安のある方を対象に、福祉サービスの利用援助や、日常的な金銭管理のお手伝いをして、地域で安定した生活が送れるようにサポートします。

【サービスの内容】

▼福祉サービスの利用に関する情報提供や、相談を行います。※福祉サービスとは、ホームヘルプサービスやデイサービス、食事サービス、入浴サービス、就労支援や外出サービスなどさまざまなものがあります。

▼預貯金の出し入れを行い、家賃、光熱費、日用品等の購入などに伴う支払いをお手伝いします。

▼通帳や年金証書などを貸金庫でお預かりします。

生活支援課 日常生活自立支援事業担当
☎ 072-838-0199



献血は地域の校区福祉委員会および関係機関・団体がお手伝いしています。

都合により、日時・場所が変更される場合があります。

日程	受付時間	実施予定場所
5月21日(木)	10時～16時30分 (休:12時～13時)	京阪寝屋川市駅東口前
5月26日(火)	10時30分～16時30分 (休:12時～13時)	イオンモール四條畷
6月2日(火)	10時～16時30分 (休:12時～13時)	コーナン東寝屋川店
8月13日(木)	10時～16時30分 (休:12時～13時)	寝屋川市役所

☎ 北大阪赤十字血液センター ☎ 072-632-4747



「ふくしのお仕事座談会」
～就職のきっかけに～

令和元年12月から令和2年2月にかけて3回開催した「ふくしのお仕事座談会」では、12人の参加者がありました。

福祉の仕事の内容や資格の有無などについて、コーヒーをいただきながら、地域貢献委員会加盟の保育・障害・高齢分野の理事長・施設長・園長などの方々との交流ができました。

参加者からは、「2時間がとても短く感じられ、またこのような機会があれば参加したい」「仕事に対して、大切な気持ちの部分を見せていただいた」「この企画は長く続けてほしい」といった意見をいただきました。

参加者の中には、施設の仕事を確認したいとの希望で施設見学を行う方や、この座談会をきっかけに就職活動を行い、就職を決められた方もいました。

「ふくしのお仕事座談会」は令和2年度も年4回実施します。



熱心な意見交換がありました

令和2年度第1回目 参加者募集

- 日 時 6月12日(金)14時～16時
- 場 所 桜撫庵
- 内 容 福祉施設の概要説明と福祉の仕事の質疑応答
- 対 象 福祉の仕事に興味のある人、福祉の仕事を探している人
- 定 員 5人
- 参加費 無料

生活支援課 ☎ 072-812-2040

令和2年度
共同募金の配分申請の受付を開始します

- 期 間 5月1日(金)～20日(水)
- 対 象 大阪府内で行う民間社会福祉事業、更生保護事業、その他社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体 ※介護保険制度の事業は対象になりません。

大阪府共同募金会 ☎ 06-6762-8717

～施設での1日ボランティア体験～

ふれあいで幸せな気持ちに
感動の涙も

今年度のしゃべり場では大学生～80代の男女が集まり、「福祉ボランティアの輪と層を広げるための方策」を企画、実施しました。その1つに「ボランティアやってみませんか」があります。

「ボランティアをやろうと思ってもきっかけがない。ならばまず体験してもらおう」という思いのもと、学生や施設職員が約半年かけて企画・検討し、2月9日(日)に企画メンバーである特別養護老人ホームロイヤルライフ天寿苑にてボランティア体験を行いました。大学生や社会人など男女6人が参加しました。

体験者からは「人と人とのふれあいで幸せな気持ちになった」、「利用者の方と一緒に園芸作業をしている時、涙を流されていた。自分はいしたことはしていないけど、嬉しいと感じてもらえたことに感動した」との意見がありました。

企画した学生からは「なかなか人を集めるのが大変。周知方法に工夫が必要」、「この体験を通して、ボランティアに良いイメージを持っていただけたことがうれしかった」と、達成感たっぷりに話して

いました。また施設職員の方からは、「ボランティアの方からアイデアをもらい、いい刺激をいただいた」と話していました。

本会は、今後も「ボランティア体験」をさまざまな団体と連携し、広げていきたいと考えています。

1日の流れ

- ① オリエンテーション
- ② 利用者とのふれあい
- ③ ランチ(施設食)
- ④ 安心カフェ体験
- ⑤ 安心カフェ企画会議
- ⑥ ふりかえり



利用者の方と園芸で交流

地域福祉課 ☎ 072-838-0400

善意銀行だより

あたたかいご寄附をありがとうございました！♥

(1月1日～3月31日) 敬称略

現金の部	預託者氏名
藤本 吉之	高柳 5 丁目北婦人会
永岡 永岡	北河内農協女性会寝屋川地区
西島 重雄	寝屋川市グランドゴルフ協会
会長 金親 英夫	
中西 恭三	中木田中学校区社明
匿名	香里ヌヴェール学院中高生徒職員恵みのマリア募金

※一般寄附への寄附金合計は83,352円でした。
※善意銀行への寄附金合計は52,849円でした。



富永組合長(右)から贈呈いただきました

物品の部	預託者氏名	品名
有限会社 にし尾		精米
すばる・北斗福祉作業所		精米
永岡 永岡		紙おむつ
栗原 柳次		切手
読売センター寝屋川中央・駅前代表		お餅、福豆
増山 史将		
隆光学園		レトルト食品、ふりかけ 即席みそ汁
特定非営利活動法人 日本もったいない食品センター		レトルト食品、アルファ化米
匿名		調整機能付き杖

<お願い>
お受けできる物品は、新品(相当)のものに限ります。
ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

子どもたちへの福祉学習に

寝屋川遊技業組合から疑似体験装具を寄贈していただきました。福祉教育の一環として、高齢者や障害者の体の動きづらさや、目の見えづらさを体験することができ、小中学校などでの福祉体験学習に活用させていただきます。ありがとうございました。

生活支援課 ☎ 072-812-2040

〈広告〉

「終の住処」として、安心できるホーム

元気な方から要介護「5」の方までご入居いただけます。

自信のある医療・看護・
介護のサービスを
提供いたします。



リーズナブルな利用料
入居条件
●60歳以上の方
●要支援・要介護・認知症の方
●施設入所待ちの方

スタッフ
募集!

寝屋川市立第3中学校南側
☎072-826-6777
お電話いただければ
お迎えにあがります。